

第5回 泉中学校統合準備委員会 会議録

日時	令和元年6月24日（月）19時00分～19時56分
場所	泉市民館 2階集会室
出席者	<p>委員（28名）</p> <p>山内敏久委員、渡辺勝人委員、藤村巳好委員、浜田浩明委員、石川易委員、伊藤純夫委員、山田稔委員、榊原修平委員、杉浦久美委員、平井則章委員、平井仁美委員、坂腰一輝委員、藤城孝行委員、彦坂辰夫委員、渡邊康良委員、槇田尚弘委員、吉田秀和委員、渡會美恵子委員、鈴木博好委員、大羽弘樹委員、横田充委員、杉原文也委員、小久保浩明委員、渥美謙一委員、山本忠史委員、鈴木力委員、樽谷哲郎委員、森下しのぶ委員</p> <p>事務局（11名）</p> <p>花井教育長、宮川教育部長、伊藤教育総務課長、渡邊学校教育課長、大羽企画部企画課長、前川渥美支所地域課長、荒木赤羽根市民センター所長、鈴木学校教育課指導主事、小久保教育総務課課長補佐兼係長、彦坂教育総務課主査、藤井教育総務課主任</p>
欠席者	北野祐樹委員、武田直也委員
傍聴者	なし
	《資料確認》
事務局	<p>配布資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 統合準備委員会委員名簿 ・資料2 統合準備委員会設置要綱 ・資料3 専門部会設置要領 ・資料4-1 これまでの経緯 ・資料4-2 スクールバス運行検討図 ・資料5 今後のスケジュール
	《開会》
事務局	<p>ただいまから第5回泉中学校統合準備委員会を始めさせていただきます。</p> <p>まず初めに、花井隆教育長からご挨拶を申し上げます。</p>
教育長	<p>こんばんは。教育長の花井隆と申します。</p> <p>今回この泉中学校の統合準備委員会も第6回を重ね、皆様方にはまだ明るくて仕事もできる時刻に、こうやってお集まりいただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>令和になって初めての会ではありますが、皆さんによろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>私、教育長になって5年目を迎えておりますが、5年前のなったばかりのときに、ちょうど、堀切、伊良湖、和地の三つの小学校が一緒になって伊良湖岬小学校としてスタートしたというところでした。私の前の教育長が、学校にはやはり子どもたちが少なくても活気もなく、ぜひ社会性を身につけたいということで、学校数を半分くらいにして、少し大きな学校にしていこうということでした。</p>

	<p>特に、地域の核である小学校がなくなるということは、それぞれなじみのある思い出の地というのがなくなってしまうことにもなり、非常に地域にとって大きな損失というか、寂しさとかいうようなことも感じるのではないかなということも、私も感じておりましたので、小学校については、あまり統廃合を進めたくないという気持ちで教育長になりました。</p> <p>それから、今年で5年目ということで、中学校については皆さんの声をお聞きする中で、どういうふうにしていったらいいかということでやってまいりました。この4月に伊良湖岬中学校は福江中学校と一緒に、ある意味、新生福江中学校という形で、制服もブレザースタイルの、新しい制服のもとにスタートしました。当初、福江中学校へ行くことに不安や心配の声もあったわけですが、現在スタートして3か月になろうとしていますが、様子を聞いてみますと、結構岬の子たちも楽しく生活しており、大変うまく受け入れられて、それぞれ今までのいろいろなものを新たな形にして、いいスタートが切れているんじゃないかなということで聞いております。</p> <p>そんな形でそれぞれが、二つが一つになってよい形を出していただければ、これ以上何もないなというふうに思います。若干バス通学等で、今までの心配と違う部分も出てきますが、そういうことは話し合い等をしていけば、解決できる問題であるかなというふうに感じております。</p> <p>今回統合まであと2年を切りましたが、泉中学校と赤羽根中学校が一緒になるということで、これまで会を重ねる中で、いろいろなことが決まってきました。そういう中でまた今年、来年と、いろいろ皆さんで感じる部分も含めてすり合わせを上手にしながら、令和3年の4月には子どもたちがいい形で赤羽根中学校でスタートできたらなというふうに思います。</p> <p>そんな形で皆さんの多くの意見を伺う中で、この統合準備委員会も進めてまいりますので、いろいろこちらに声を届けていただいて、うまく子どもたちが、それぞれの学校から新たな赤羽根中学校へ行けるような形になっていけるといいかなということをご希望しておりますので、子どものために新たな教育をつくるという観点で、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>今日は大変お疲れさまですが、お願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は今年度最初の会議ということで、昨年度から交替された委員の方が多くございます。</p> <p>委員の皆様の紹介につきましては、お手元に配付させていただいております名簿をご覧くださいまして、自己紹介のほうは省略させていただきたいと思ひますので、どうぞご了承ください。</p> <p>次に、私のほうからこの統合準備委員会の設置要綱について、若干説明をさせていただきますので、資料2をご覧ください。</p> <p>泉中学校の統合準備委員会につきましては、泉中学校と赤羽根中学校の統合を円滑に行うために、必要な準備や検討及び調整を図るために平成29年7月に設置をされて</p>

	<p>おります。所掌事務としましては、第2条にございますとおり、教育課程、事前交流事業、学校行事、部活動、通学体制、PTA組織の運営、式典事業に関すること及びその他統合に必要な事項としております。</p> <p>委員につきましては、第3条におきまして、委員30人以内をもって組織することとしており、第4条では皆様の任期につきまして、令和3年3月31日ということで統合の前日までとしております。第5条では委員長及び副委員長のこと、第6条では委員会の議長は委員長とすることなどを定めております。また、第7条では委員会に専門部会を置くことも定めております。</p> <p>なお、この要綱につきましては、今年5月1日の元号改正に伴いまして要綱の改正をしておりますので、ご了承を願います。</p> <p>以上で、設置要綱の説明を終わらせていただきまして、ここからの議事の取り回しにつきましては、設置要綱第6条に基づきまして議長である委員長にお願いしたいと思っております。</p> <p>それでは山内委員長、ご挨拶をいただいた後、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>皆さん、改めまして、こんばんは。</p> <p>先ほど、教育長のほうからご挨拶ありましたように、まだ明るい中で大変お忙しい中を、泉市民館に集っていただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>早いもので、もうちょっとで統合という形になってまいりました。今まで協議をした中で、今からが本番になると思っております。通学をどうしたらいいのか、子どもたちがよりよい中学校生活ができるように検討していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ここからは私のほうで会議を進行させていただきますので、円滑な議事進行に皆様のご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>まず、初めに、副委員長の指名についてですが、前副委員長でありました赤羽根校区コミュニティ協議会前会長の中村文紀さんが退任されました。現在、副委員長が不在となっておりますので、新たに副委員長の指名を行うものでございます。</p> <p>先ほどの設置要綱第5条の第3項の規定によりまして、副委員長は委員長の指名によるとなっておりますので、私のほうから指名させていただきます。</p> <p>副委員長には、高松コミュニティ協議会長の藤城孝行さんを指名させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ここで藤城副委員長に挨拶をお願いいたします。</p>
副委員長	<p>どうも、こんばんは。</p> <p>今、委員長からの指名をいただきました。非常に大役で戸惑っておりますが、委員長さんをしっかり補佐できるよう頑張っていきたいと思っております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、部会長の任命についてですが、まず事務局のほうから説明願います。</p>

事務局	<p>それでは、部会長の任命につきまして、資料をもとに説明をさせていただきます。資料3をご覧ください。</p> <p>資料3の泉中学校統合準備委員会専門部会設置要領としまして、泉中学校の統合準備委員会では専門部会として、四つの部会を設けてございます。</p> <p>まず、総務部会といたしまして、卒業作品、記念物等の調査や取扱い、また閉校式や出発式などの式典に向けた検討や準備、歴史や伝統の保存などを今後どうするかということを決めていく部会でございます。</p> <p>二つ目のPTA部会につきましては、PTA組織、経理の一元化を図ること、現PTAの組織を解散するに当たっての精算方法や決算について協議をしてまいります。また、新たなPTA組織の編成に伴う役員の選出方法や規定などの見直しを検討していく部会となっております。</p> <p>三つ目の学校運営部会につきましては、教育課程や学校行事の調整、事前交流事業の計画、また心のケアなどの支援対策を行っていく部会です。さらに、部活動の運営計画、生徒の服装や持ち物、校則、生徒会役員などの選出方法を検討していく部会となっております。</p> <p>そして、四つ目の通学・安全部会につきましては、通学手段の検討と通学路の安全対策を主に検討していく部会ですが、仮にスクールバスを運行させた場合の運行ルートやバス停、運行時間などの調整や通学路の安全対策を調整していく部会となっております。</p> <p>そのほか部会以外では、表の下にございますその他になりますが、学校備品の整理や廃棄物品の関係。それから文書の保存などについて、こちらは学校と事務局である教育委員会で調整を図ってまいります。</p> <p>そこで改めて、資料1の名簿をご覧ください。</p> <p>皆さんのお名前の右側に総務部会、PTA部会、学校運営部会、通学・安全部会という欄がございます。皆様方に部会員としまして、今後調整を図っていただきたい部会に丸をつけてございます。一人二役だとか、三役、全てといった重複する方もおられますが、ご自分がどの部会に所属をするのかということは今一度、ご確認いただきたいと思っております。</p> <p>なお、全体を通した流れで申し上げますと、まず部会を開いて、さまざまな事項を調整しまして、部会で決定したこと、または現在検討中であることなどを次に開かれる統合準備委員会で報告をし、承認をいただくという流れで進めてまいります。</p> <p>なお、部会では決められない事項につきましては、統合準備委員会で協議し、委員会で最終的に決定するといった流れでもございます。</p> <p>また、各部会には、例えば同窓会など、検討内容に関係する方をオブザーバーという形で呼ぶこともできますので、よろしく願いいたします。</p> <p>そういった四つの部会の部会長を選任していただきたいということでございます。以上で、説明とさせていただきます。よろしく願いします。</p>
委員長	はい。事務局の説明が終わりました。何か聞いておきたいことがありますか。各部

	会について。皆さん、ございませんか。よろしいですか。
委員	すみません。
委員長	はい。
委員	どこで言えばいいかわかりませんが、前回、同窓会長をオブザーバーで呼ぶという ような形であったわけですが、内容を見ると記念誌とか、同窓会に依頼するような内 容が非常に多くございますので、総務部会のほうに部会員として同窓会長さんを入れ ていただければ、心置きなく依頼とそれから会議にも参加できるかなというふうに思 うわけでありまして。オブザーバーという形だと、何となく同窓会長さんも行っても行 かなくてもいいのかというような感じで受け取りがちでありますので、もし規則上、 可能ならば同窓会長さんを総務部会のほうに入れていただきたいと思いますが、いか がでしょうか。
事務局	委員長、どうでしょうか。この場で決めていただければ結構ですが、多分、泉中学 校区にもおられるし、赤羽根中学校校区にもおられることですね。
委員長	赤羽根にも同窓会という会がありますよね。今のご意見の中で、資料2の設置要綱 の中には「委員30人以内をもって」というのがあるんですが、それを変えないと委員 として招集はできない。
事務局	そうですね。要綱として、そこが引っかかるところです。30人以内ということでご ざいまして、現在ちょうど30人ということで、統合準備委員会の委員さんとして要綱 を改正して2名増やすのか、部会としてのみ入れるのか。
委員長	この辺どうですか。どう思いますか。各部会の中へオブザーバーとして来ていただ くだけでいいのか、この中のメンバーに、それぞれの同窓会長の2名を増やすか。2 名増やすとなると、この資料2の設置要綱を変えなければいけないのですが、皆さん が変えていいよと言えば増やすことはできる。福江中学の場合は、委員ではなくてオ ブザーバーとしてでしたか。
事務局	はい。福江中学校と伊良湖岬中学校の場合は、部会のほうで専門部会を開く日では なくて、事前に同窓会の方々にいろいろな意見を聞いて、それを部会に持ち寄って、 いろいろなことを決めてという話を聞いております。
委員長	どうでしょう。この場で要綱改正をするかどうか。
事務局	はい。人数の変更を皆さんに、お諮りしていただければ変更可能です。
委員長	オブザーバーだと何も権限もないし、あと意見を聞くだけになってしまうので、意 見を言える立場だと委員ということだよな。 予定にはないんですが、この場で要綱の改正について、お諮りしてもよろしいです かね。 それでは、設置要綱の第3条の各委員は、委員30人以内をもってというのを2名増 やすという形で賛成の方は挙手願います。
	(賛成多数)
委員長	はい。賛成多数です。 では、この設置要綱を変えていただいて、委員としてお願いしたいと思ひます。

事務局	はい、わかりました。
委員長	それで総務部会を開くときには、いわゆる委員として入れてもらう。
事務局	はい。わかりました。
委員長	名簿ができたなら皆さんにお配りして。
事務局	はい。
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>では、要綱を32名ということにします。</p> <p>続いていきます。ほかにございませんか。</p> <p>なければ各部会長につきましては、設置要綱第7条2項の規定により、委員長からの任命ということで、お諮りします。</p> <p>総務部会の部会長に泉中学校の小久保浩明先生、</p> <p>P T A部会の部会長に赤羽根中学校の樽谷哲郎先生、</p> <p>通学・安全部会の部会長に前江比間自治会長の石川易さん、</p> <p>学校運営部会の部会長に赤羽根中学校の樽谷哲郎先生、先生には二つ持っていただきますが、ということで3名の方をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。賛成される方は挙手願います。</p>
	(賛成多数)
委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>皆さん、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>次に、これまでの経緯と今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。それでは資料4-1をご覧ください。まず、これまでの経緯について説明をさせていただきます。これまでの経緯の説明につきましては、昨年度開催した各部会の検討事項の報告も兼ねております。どうぞご了承願います。</p> <p>まず、統合準備委員会は第1回目を平成29年7月に、第2回から第4回目を昨年度開催してございまして、ここでは各部会で検討していく事項について協議をいたしました。特に、1ページ、第3回の委員会におきまして、部活動の種目や制服、体操服について協議がなされ、部会の案で進めていくことで決定をしております。また、2ページの第4回の委員会では、3年間通して使う教材の統一や修学旅行の時期の決定、そのほかの学校行事や生活のきまり、P T A組織などについて提案がなされまして、引き続き検討していくこととなっております。</p> <p>次に、4ページからの専門部会についてでございますが、まず、学校運営部会につきましては、平成29年度に1回、平成30年度に3回の計4回開催をしております。この部会では事前交流事業として、合同合唱祭と合同長距離走駅伝大会を実施したこと、この報告、年間行事や日課表、また生徒の服装、持ち物、校則などを比較、検討したこと。部活動の運営につきましては、両校の部活動の比較や片方にしかない部活動をどうするかなどについて話し合いが行われました。</p> <p>7ページ、P T A部会ですが、昨年2月と今年1月の計2回開催をしております。</p>

	<p>ここでは、PTAの会則などの比較を行いまして、役員や理事などの総数、PTA会長の分担、会長以外の役員の割振り、各委員会の組織などについて検討を行っております。</p> <p>次に、通学・安全部会ですが、平成29年11月に1回目を行っております。ここでは遠距離通学の基本方針について説明をした後、両校区の図面をもとにしまして通学路としての路線を検討し、スクールバス通学の場合のルートについて検討をしております。</p> <p>なお、総務部会につきましては、閉校式や歴史、伝統に関する事項が協議事項の軸になっておりますので、今の時期から検討していくには若干早いということで、現時点では部会を開催しておりません。なお、資料4-2、通学・安全部会で検討している通学路ルートの図面でございますが、こちらの説明につきましては、課長補佐の小久保から簡単に説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。それでは、資料4-2の説明をさせていただきます。</p> <p>こちらの図ですけれども、スクールバスを運行するに当たりまして、まず泉中学校の生徒数の見込みということで、一番左上のところに囲んであります統合時、令和3年度の見込みについては、第1回の会議資料から生徒数を最新の31年4月1日時点の住民票の登録者数で見直しをしております。それでいきますと、現在小学校5、6年生と中学1年生が令和3年度の中学生になる子たちですので、80名が泉中学校区で赤羽根中学校へ通う生徒になります。</p> <p>スクールバスについてですけれども、スクールバスの種類といたしまして、その隣にあります大型バスが60人乗り、中型バスが45人乗り、マイクロバスが28人乗りとなっております。80人の生徒数でありますと、大型バス1台と中型バス1台ぐらいで乗って行けるのかなというところを提示させていただいております。スクールバスの運行についてなんですけれども、スクールバスについては行きの便が朝1便と、中学生ですので部活がありますので、帰りは部活のない子の帰りの便が1便と、部活が終わってからの帰りの2便を予定しております。それプラス土日とか、夏休みとかの部活があると思いますので、その部活動への送迎を含めて検討していきたいと思っております。</p> <p>その下に、泉中学校の生徒数の見込みということで、統合後の令和3年度以降の5年間の見込みが入っております。そちらをご覧くださいますと80人から63、67、74、76人ということで、統合時が一番生徒数としては多いと思われるので、そのときの子たちが乗っていける車であれば対応できるのかなと思っています。</p> <p>参考に地区ごとの生徒数の予測が入っております。あと、各地区からの赤羽根中学校までのおよその距離と、車で行った場合にかかる時間がデータとして載せてあります。1回目の会議の中では、まずスクールバスの運行について、どのルートで行けるかというようなところで、図面のオレンジ色の線が入っているかと思っております。宇津江の集会所から泉市民館、そこから畑の中を抜けていくというルートも検討としてはありましたが、こちらについてはバス会社に確認したところ、やはり大型バスであそこ</p>

	<p>の道を通るとなると、修学旅行とか、1回だけのことであれば何とかする場合もありますけれども、基本的に、毎日生徒を安全に始業時間までに送り届けるとなると、ちょっとこちらの道は難しいという回答をいただいておりますので、そうすると、おのずとルートが絞られてくるのかなという気がしております。</p> <p>あとはバス停等について、バス停が設置できそうな、バスがとまって生徒が安全に乗っていけるようなところについて、地元の方たちにどういったところが活用可能かというところを検討していただいております。その中では、バスを通すのではなくて、例えば八王子とかですと5キロぐらいということで、自転車でも行けるじゃないかというような話もあったりとかですとか、あとは現状だと緑で示した歩道未整備区間というのがありますので、その辺が県道になり、県のほうで整備をしていただけないかというような話とかもありまして、それについては県の事業になりますので、要望等を行っていくというようなお話になっております。</p> <p>部会のほうで出された意見としましては、バスを路線バスのようにバス停を使って捨っていくとか、先ほど言いました県道の歩道の整備の見通しですとか、八王子にみんな集まってバスに乗って行くのはどうかとか、大型1台と中型1台ではなくて、大型1台とマイクロ2台ではどうかというような意見も出されております。これにつきましては、昨年度は部会の開催をしておりませんので、今年度、来年度の予算要求に向けて具体的に決めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>私からは以上です。</p>
事務局	<p>続きまして、資料5をご覧ください。今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。</p> <p>表の一番上が統合準備委員会としてのスケジュールになります。今年度と来年度の2カ年で示してございますが、今年度につきましては本日が1回目としまして、2回目を10月の下旬、3回目を翌年の2月ごろ開催するという予定で示してございます。来年度の令和2年度につきましては、6月、9月末、1月末の予定での年3回程度ということで、必ず3回ということではありませんが予定として載せてございます。</p> <p>そして、その下から総務部会、PTA部会、学校運営部会、通学・安全部会等がございますが、この中にある二重丸の部分につきましては、部会をこの時期には開催したいという時期を示しております。その理由としましては、来年度に向けた予算の確保が必要となる事項を検討していきたいというところでございます。</p> <p>また、少し色が塗ってある部分は、伊良湖岬中学校が福江中学校と統合する際に、各部会でいつの時期に、どんなことを検討していったかということが示させていただいておりますので、また参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>なお、それぞれの準備委員会、検討部会を含めまして、その開催時間につきましては皆様お仕事をしておられます。夜勤の方もおられますが部会も合わせまして、本日のように午後7時ごろからというのが基本になってくるかと思われませんが、開催日時、日程につきましても、それぞれの部会長と調整をさせていただきながら皆さんにご案内をまいります。</p>

	事務局からは以上でございます。
委員長	はい。ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。 はい、どうぞ。
委員	資料4-2で説明を受けたんですけれども、歩道の未整備部分について、今、建設事務所に要望しているかと思うんですが、その感触というのは、どのようかというの はわかりますか。
事務局	感触としましては、県のほうは多分すぐには厳しいというところです。伊良湖岬中学校の統合に当たっても、保美から渥美総合体育館に向かう県道がメインのルートになっており、そこも歩道がない状態で危ないという中で市の建設部のほうから要望を挙げているんですけれども、その中のお話では、やはり用地を取得してまで歩道を整備するというのは今の現状では厳しいという回答で、今ある中で例えば、保美の路線でいきますと、路肩部分に法の部分があるので、法を直に上げてできた土地を歩道にするとか、そういった方法なら検討の余地はあるけれども、それにしてもその整備をするに当たっては、境界を確定しないといけないので、その隣接者との境界確定だけですごく費用も時間もかかるというような回答をいただいております、そちらと合わせて考えますと、こちらについてもそういった状況ではないかと思われまので、数年とかのスパンでできるものではないと思います。
委員	はい、すみません。
委員長	よろしいですか。 ほかにございませんか。 私からちょっと、スケジュールの中の総務部会で、岬中の閉校式が3月14日にありますが、出発式は4月26日にある。どういうことか。
事務局	これは伊良湖岬中学校が行った閉校式が3月14日でした。この日を決めたのが中学校の入試が行われて発表までの間で、3年生たちも来られるだろうという時期でした。議会中でもございましたが、こちらのほうは議会休会に当たりましたので、そこで閉校式を行いました。 その後、出発式については、岬中学校の地域の生徒が福江中学校の生徒になったということで4月になってからの26日に出発式という形で福江中学校の中で行われた式典です。
委員長	既に授業は始まっていたということですか。式典だけ改めてやったということ。
事務局	はい、そうです。
委員長	その辺はこれがお手本になるけれど、今回の場合はこれにこだわらなくてもいい。
事務局	はい、そうですね。
委員長	はい。わかりました。ほかにございますでしょうか。
委員	すみません。
委員長	はい、どうぞ。
委員	ちょっと戻るかもしれないんですけれども、いいですか。泉中学校の渥美といいま

	<p>す。お願いします。</p> <p>2点、質問というか確認をしたいのですが、まず1点目が専門部会の開催に関する事なんですけれども、この統合準備委員会の開催については委員の2分の1以上の出席で成立という条件があるんですけれども、専門部会のほうの成立条件のほうを書いてありません。同様に専門部員の2分の1以上で成立として考えるのかどうかという、その辺の解釈をお伺いしたい。</p> <p>2点目の確認は、スケジュールのほうで10月に次回の統合準備委員会があるということで、その前に予算要望のための専門部会を開くことになるわけなんですけれども、こちらのほうは専門部会で検討していれば、それで要望してよいというふうな解釈でいいですか。当然準備委員会のほうを、その要望の確認は通らずに、これ要望になるかと思うんですけれども、その辺をちょっと教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>はい。まず、専門部会のほうの成立のお話からいきますと、まず統合準備委員会の委員の皆様方を、専門部会のほうに振り分けをさせていただいております。その専門部会というものにつきましては、まずそこで検討していただき、専門部会として、こういった案でいきましょうということを決めていただきます。それを統合準備委員会で協議して最終決定をするという流れです。</p> <p>仮に専門部会が半数以下の出席だった場合でも、その後、その資料等をお送りしましてご意見等を聞きまして、意見がまだ収拾がつかないというときには、改めてまた専門部会を開くとか、そういった形で行っていきます。</p> <p>そして2点目の次回の統合準備委員会が10月上旬という想定でいくと、その前に予算が伴うものについては専門部会で協議をしていただき、その協議した結果を統合準備委員会のほうに持ってきていただいて、そこで委員の皆さんでお諮りをするということになっています。それで委員の皆さんのほうで諮ったものを、うちのほうが見積りを取ったり、毎年10月末が次年度予算の締め切りになりますので、それまでに決めておきたい予算を確定していきたいといったものです。</p> <p>専門部会は何回やっていただいても構いません。準備委員会へ持っていくまでも結構ですし、まだ報告だけになるかもしれません。専門部会で決まったからそれで決定というところまでは、専門部会に役目はなくて、統合準備委員会のほうで最終的な決断をしていただくという流れになります。</p>
委員	ありがとうございます。
委員長	よろしいですか。はい、他にあれば。
委員	スクールバスの件で、このオレンジ色のラインがバス会社が難色を示しているところですけど、ということはもうこのコースは完全に没ということですか。
事務局	そうですね。ここは毎日の運行にはちょっと厳しいということですね。
委員	道を広げようと思っても、当然できないということですか。
事務局	道を広げるのであれば、逆に歩道を整備して、自転車で通学してもうらうことも。
委員	何を言っているかというのと、この田んぼの中を通っているじゃないですか。それでこれが没ということは2台とも石神のほうを通ると。

事務局	そうになってしまうかなと思っています。
委員	歩道が広がらないということならば、ここをスクールバスで通うということは、決定。
事務局	それはまた、これから部会とかで。
委員	でも、歩道は広がらないんですよ。
事務局	はい。
委員	歩道が広がらないというのは、建設部から県のほうにいて、県の回答を得ていることでよろしいですか。広がらないよということを得ているという。
事務局	得ているというか。
事務局	非常に厳しいだろうなという。
委員	厳しいということは、まだ余地があるということですか。
事務局	今から2年後に統合する前提で、歩道を整備してくれる条件では、県は答えてはないと。いつやるかという回答はない。うちは統合するから早くやってほしいという要望を出しているんですが。
委員	回答はないと。
事務局	比較的厳しいという答えを県の建設のほうは言っている。
委員	前向きに検討させていただきますということなんですね。
事務局	そのようなぐらいです。
委員	はい。
事務局	小久保先生と樽谷先生のおっしゃるとおり、それでは、もうスクールバスですねということについては、事実上そんな感じになると思います。教育委員会としても、生徒の安全の確保がありますので、歩道もない、道路整備をされてないところに距離が短いから自転車で行きなさいとは言えませんが、こういった道路整備が安全確認されるまでは専門部会のほうで、また決めていただきますけれど、スクールバスしか案はないかなというふうな考えは持っています。
委員長	よろしいですか。まだじっくり、こないような課題でもありますが。ほかにございますでしょうか。ありませんか。もう一つ私のほうからいいですか。
事務局	はい。
委員長	予算要望で専門部会を9月の半ばぐらいの時期にやる。多分9月の頭ぐらいの部会で予算要望の内容を出せという話なんだけど、そこから1カ月で各方面に見積もりを取って概算のお金が把握できるのかなと思うんですよ。どれだけの案件で、どれぐらいのお金になるかというのは、まだちょっとわからないけど。
事務局	そうですね。まず、総務部会でいうと閉校式をどういう形でやるか。それから例えば閉校式をやる場合に、記念品等もつけるかどうかといったところから入っていただく。これはやっぱりやらなければいけないというものが出た時点で、ここで決定ではなくて、まだ式典のやり方は1年以上かけて練っていけばいいもんですから、教育委員会としましては式典をやったときに、最大でこれだけはかかるだろうというものを

	<p>予算確保したいということですので、岬中学校のほうも実際はそうでした。学校側としてはパンフレットをつくりたい、クリアファイルをつくりたいとかといったもの、全てをやると決めても予算が何とか確保できるというところの予算取りをしたいということで、予算の時期をここで定めていますので、よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>多分、各部会でも今、事務局が言われたけれど、マックスと言って要望は出すのだよね。もうこれは絶対確保してくれるものだと思っいいのか。事務局が財政側に要求したときに、これはだめって言われたらどうする。</p> <p>絶対取ってくれるという自信があればいいけど。</p>
事務局	<p>変な言い方、ランクを下げるとか。</p>
委員長	<p>ランクを下げる。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員長	<p>それも、みんなで決めたことを。</p>
事務局	<p>確かにその予算がつかなければできないものもあります。1個いうと、岬中学校と福江中学校のほうでは記念のDVDをつくりたいということで、予算確保ということではいきましたけど、予算はつきませんでしたので、職員のほうでDVDはつくりました。ある程度の部分だけ予算を捻出させてもらって配布していますので、ちょっといろいろの手だては教育委員会のほうも考えていきますので、何もつかなかったから記念式典をやめるといふところまではさせませんのでご理解ください。</p>
委員長	<p>でもねえ、これだけのものを、せつかくやろうとしたときに、ランクを2ランク下げたら何やとるだという話になってしまうので、その辺をみんなで考えたいね。</p> <p>各部会でその点を充分、予算のからみで教えてあげてください。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>ないようですので、資料5のとおりに進めていきたいと思います。</p> <p>必要に応じて部会等は開いて検討していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
	<p>《その他》</p>
委員長	<p>次に「その他」ですけれども、事務局から何か連絡事項等はございますか。</p>
事務局	<p>はい。それでは、事務局のほうから2点お願いをいたします。</p> <p>先ほども、お話にあります今後の専門部会をいつごろ開くかという日程の調整を、今後各部会の部会長さんとしてまいります。その日程を決めた上で、部会の委員の皆さんにご案内をさせていただきます。皆さんには専門部会等も重ねていく中で、それぞれの組織の代表として来ていただいておりますので、地域へ戻りましたら地域の方々や各組織の方々に情報提供等をしていただきまして、ほかの役員さんや地域の皆さんの声を聞いていただきながら、その都度、専門部会、統合準備委員会でお聞かせいただければ幸いです。</p> <p>それからもう1点のお願いですが、名簿の中の、今日決まりました通学・安全部会の委員さんに対してのお願いです。この後、この準備委員会が終了しましたら少しお時間をいただきまして、急ではございますが、通学・安全部会、今年度1回目を開き</p>

	<p>たいと思っております。これは、先ほどもお話が出ておりますとおり、スクールバスの台数だとか、中型にするのか、大型にするのか、それによって予算が大きくかわってまいります。予算の見積もりの準備をしていくにも結構時間がかかりますので、スケジュールの案のとおり7月上旬にまた専門部会を開き、何度も足を運んでいただくよりも本日お越しになっていただいております委員の皆さん方と、この場をお借りして専門部会を開催したいというのが理由でございますので、どうぞご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>こちらからは以上です。</p>
委員長	<p>はい。それでは委員の皆さんから全体を通じてご質問、ご意見等がありましたらお願いします。ございませんか。</p> <p>ないようですので、以上をもちまして、第5回泉中学校統合準備委員会を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたり、お疲れさまでした。</p>